

IV 学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)

1 出願期間等

(1) 出願期間等

学 部 等	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送 (書留速達))
人文社会科学部	令和7年10月28日 (火) 9時 ～11月6日 (木) 16時30分	令和7年11月4日 (火) 9時 ～11月6日 (木) 16時30分【必着】
教 育 学 部		
理 学 部		
工学部昼間コース		
工学部フレックスコース		
農 学 部		
社会共創デジタル学環		

※持参の場合、出願期間中の9時から16時30分まで受け付けます。

※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

(2) 出願書類の提出先

志願学部等の担当部署 (21ページ参照) に提出してください。

(注) 1 出願書類については、「2 出願書類及び出願手続」を参照してください。

2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。

3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

2 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。出願書類は、学校長の責任のもとに、入学志願者1人ごとに、「出願書類提出用宛名シート」をはり付けた市販の角形2号封筒に入れ、郵送 (書留速達) 又は持参により提出してください。

なお、複数の入学志願者を推薦する学校において、提出先が同じ場合は、入学志願者ごとの封筒を、「学校推薦型選抜入学願書在中」と朱書きした別の封筒にまとめて入れ、書留速達扱いとして提出することができます。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学願書は検定料の支払い後に印刷可能になります。インターネット出願サイトから A4タテ片面でカラー印刷 してください。 ○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和8年3月31日 (火) まで確実に郵便物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号 (〇〇様方) を入力してください。
調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身学校長が作成し、厳封 してください。 1 高等学校又は中等教育学校については、所定の調査書により作成してください。 2 上記1以外の学校については、所定の調査書に準じて作成してください。 3 教育学部学校教育教員養成課程理数系教員養成コースの出願資格・出願要件(4)及び理学部理学科の出願資格・出願要件(4)に係る科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載してください。

出願書類	出願書類作成上の注意
推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、A4タテ片面で印刷の上、出身学校長が作成し、厳封してください。 ○ 「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、A4タテ両面で印刷の上、本人自筆で作成してください。 ○ 「志望理由書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
読書感想文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人文社会科学部人文社会科学科総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースの入学志願者は、所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、A4タテ両面で印刷の上、本人自筆で作成してください。
出願書類提出用 角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネット出願サイトからA4タテ片面でカラー印刷してください(入学願書と同時に印刷ができます。)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。

(注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

2 記入に当たっては黒のボールペンを使用して、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。

4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部等の担当部署(21ページ参照)に連絡の上、指示に従ってください。

3 学部等別募集要項細目

人 文 社 会 科 学 部

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
人 文 社 会 科 学 科	グ ローバル ・ スタディーズ コース	9 人
	総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース	40 人

2 出願資格・出願要件

コ ー ス 名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
グ ローバル ・ スタディーズ コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和 8 年 3 月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校第 3 学年を令和 8 年 3 月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1 校につき 2 人以内とします。</p> <p>(1) グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 国際社会、異文化理解、外国語について深い関心がある者 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和 7 年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
総合法律/ 地域公共政策/ 経済・マネジメント コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和 8 年 3 月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校第 3 学年を令和 8 年 3 月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1 校につき 2 人以内とします。</p> <p>(1) 総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 社会について深い関心がある者 (5) 個性的で活力がある者 (6) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和 7 年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>

3 選抜方法等

グローバル・スタディーズコース	選 抜 期 日	令和7年11月20日（木）・21日（金） （本学部が指定するいずれかの日）							
	時 間	9：00～17：00（予定）							
	科 目 等	面 接（プレゼンテーションを含みます。）							
	選 抜 方 法	<p>(1) 推薦書，調査書，志望理由書の審査に加え，面接（プレゼンテーションを含みます。）を実施します。</p> <p>(2) 面接（プレゼンテーションを含みます。）ではまず，国際社会・異文化理解・外国語（言語そのものの特徴や言語比較等）といったグローバル・スタディーズコースで扱う学問分野の中から自分で選んだテーマについて，考えたり調べたりした具体的な成果を，A4用紙1枚（片面のみ使用）にまとめた説明資料（試験当日持参，面接（プレゼンテーションを含みます。）時に提出）にもとづいて，5分程度日本語で話してもらいます。その後，主としてそれをもとにした質疑応答を行います。</p> <p>(3) 質疑応答は原則として日本語で行い，論理的思考力，勉学意欲，発表力，本コースでの修学に必要な基礎的能力をみます。</p> <p>(4) 配点は，次のとおりとします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書)</th> <th style="text-align: center;">面 接 (プレゼンテーションを含みます。)</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30点</td> <td style="text-align: center;">70点</td> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </tbody> </table> <p>面接（プレゼンテーションを含みます。）時間は1人30分程度です。</p>		書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書)	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)	合計	30点	70点	100点
	書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書)	面 接 (プレゼンテーションを含みます。)	合計						
30点	70点	100点							
採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲，学校在学中の成績及び活動実績，国際社会・異文化理解・外国語への関心，本コースでの修学に必要な基礎的能力等を総合的に評価します。								
合否判定基準	推薦書，調査書，志望理由書及び面接（プレゼンテーションを含みます。）の結果を総合して判定します。								
総合法律/ 地域公共政策/ 経済・マネジメント コース	選 抜 期 日	令和7年11月20日（木）・21日（金） （本学部が指定するいずれかの日）							
	時 間	9：00～17：00（予定）							
	科 目 等	面 接（口頭試問を含みます。）							
	選 抜 方 法	<p>推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。</p> <p>配点は，次のとおりとします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文)</th> <th style="text-align: center;">面 接 (口頭試問を含みます。)</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">100点</td> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </tbody> </table> <p>面接（口頭試問を含みます。）時間は1人30分程度です。</p>		書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文)	面 接 (口頭試問を含みます。)	合計	100点		100点
	書類審査 (推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文)	面 接 (口頭試問を含みます。)	合計						
100点		100点							
採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲，学校在学中の成績及び活動実績，社会的関心等を総合的に評価します。								
合否判定基準	推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果を総合して判定します。								

◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

教 育 学 部

1 募集人員

課 程 ・ コ ー ス 名	募 集 人 員	
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 員 養 成 コ ー ス	20人
	中 学 校 教 員 養 成 コ ー ス	8人
	理 数 系 教 員 養 成 コ ー ス	7人
	心 理 支 援 系 教 員 養 成 コ ー ス	7人

2 出願資格・出願要件

コ ー ス 名	出 願 要 件 ・ 出 願 資 格
小 学 校 教 員 養 成 コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者(注)又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき3人以内とします。</p> <p>(1) 教職に就くことを強く希望する者 (2) 小学校教員養成コースでの勉学を強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和7年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
中 学 校 教 員 養 成 コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者(注)又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき3人以内とします。</p> <p>(1) 教職に就くことを強く希望する者 (2) 中学校教員養成コースでの勉学を強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和7年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
理 数 系 教 員 養 成 コ ー ス	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者((注)1)又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき3人以内とします。</p> <p>(1) 教職に就くことを強く希望する者 (2) 理数系教員養成コースでの勉学を強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (4) 数学及び理科について、数学Ⅲ、物理、化学、生物及び地学(理数科にあつては、理数数学Ⅱ、理数物理、理数化学、理数生物及び理数地学)の科目の中から2科目以上を履修した者又は履修見込みの者((注)2) (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和7年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。 2 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。</p>

心理支援系 教員養成 コース	<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校第3学年を令和8年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。</p> <p>(1) 教職に就くことを強く希望する者 (2) 心理支援系教員養成コースでの勉学を強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和7年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
----------------------	--

3 選抜方法等

(1) 選抜日時・科目等

コース名	選抜日時	科目等	配点
小学校教員養成コース	令和7年11月22日(土) 9:00～17:00(予定)	面 接 (口頭試問を含みます。)	300点
中学校教員養成コース	令和7年11月22日(土) 9:00～17:00(予定)		
理数系教員養成コース	令和7年11月21日(金) 9:00～17:00(予定)		
心理支援系教員養成コース	令和7年11月22日(土) 9:00～17:00(予定)		

◎ 試験場：小白川キャンパス（山形市小白川町一丁目4-12）

詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

(2) 選抜方法及び成績の評価

小学校教員養成コース、中学校教員養成コース、理数系教員養成コース、心理支援系教員養成コース

面 接 (口頭試問を含みます。)	方 法	複数の面接担当者による個別面接
	時 間	15分程度（志願者数により増減することがあります。）
	内 容	教員を志望する理由や課題についての回答等
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では、教員になることへの強い意欲、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力、論理的思考力、判断力、読解力、表現力及びコミュニケーション能力等）、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。	
合否判定基準	面接（口頭試問を含みます。）の得点と志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。	

4 大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

合格者は、「令和8年度入学者選抜要項」の25ページに示す教育学部学校教育教員養成課程各コースの大学入学共通テストの利用教科・科目名等欄に記載の「6教科7科目」について解答し、自己採点結果を地域教育文化学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます。）。

なお、これは入学までの期間の勉学意欲継続のため、また、基礎学力を把握し、入学後の学習支援に活用するために行うものです。

5 その他

本選抜で不合格となった場合又は不合格となる可能性に備えて、教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コースの総合型選抜Ⅲに出願することができます。

この場合、大学入学共通テストを受験する必要があります。

なお、本選抜に合格した場合は、総合型選抜Ⅲの出願書類を受理しません。

理 学 部

1 募集人員

学 科 名	選 抜 区 分 名	募 集 人 員
理 学 科	数 学	7人
	物 理 学	7人
	化 学	7人
	生 物 学	7人
	地 球 科 学	7人

2 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たし、かつ、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者（(注)1）又は高等専門学校第3学年を令和8年3月修了見込みの者
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上である者で、人物及び学力ともに優秀な者
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者
- (4) 出願する選抜区分において、次のすべての要件を満たす者（(注)2）

選抜区分名	出 願 要 件
数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B及び数学C（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者
物 理 学	次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B及び数学C（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については，物理基礎及び物理（理数科にあつては，理数物理）
化 学	次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B及び数学C（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については，化学基礎及び化学（理数科にあつては，理数化学）
生 物 学	次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B及び数学C（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については，生物基礎及び生物（理数科にあつては，理数生物）
地 球 科 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B及び数学C（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者

(注)1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和7年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

- 2 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は，調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 各選抜区分の口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。 また、口頭試問では、黒板又はホワイトボード等を用いて説明していただく場合があります。		
	選抜区分	出題範囲	
	数 学	○ 数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B及び数学Cの範囲の問題 ※数学Bの出題範囲は「数列」，数学Cの出題範囲は「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」とします。	
	物 理 学	○ 物理：物理基礎及び物理の範囲の問題	
	化 学	○ 化学：化学基礎及び化学の範囲の問題	
	生 物 学	○ 生物：生物基礎及び生物の範囲の問題	
	地 球 科 学	○ 地球科学に関する問題	
選 抜 方 法	面接（口頭試問を含みます。）及び書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）により選抜します。 配点は次のとおりとします。		
	面接(口頭試問を含みます。)	書類審査 (調査書，推薦書，志望理由書)	合計
	140点	60点	200点
面接（口頭試問を含みます。）時間は，1人20分程度です。			
採点・評価 基 準	基礎学力，思考力，表現力を評価するほか，学習意欲，自己表現力，チャレンジ精神等を評価します。		
合 否 判 定 基 準	面接（口頭試問を含みます。）の得点及び書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）の得点の合計により，合否を判定します。		

◎ 理学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

工 学 部 昼 間 コ ー ス

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科		35人 (出願資格・出願要件①31人, ②4人)
化 学 ・ バイオ 工 学 科	応 用 化 学 ・ 化 学 工 学 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
	バ イ オ 化 学 工 学 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
情 報 ・ エレク ト ロ ニ ク ス 学 科	情 報 ・ 知 能 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
	電 気 ・ 電 子 通 信 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		32人 (出願資格・出願要件①26人, ②6人)
建 築 ・ デ ザ イ ン 学 科		5人 (出願資格・出願要件①5人)

2 出願資格・出願要件

①	<p>高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者((注)の1及び2を含みます。)で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物・学力ともに優秀な者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 1 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者</p> <p>2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者</p>
②	<p>高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科若しくは総合学科(工業に関する教科・科目を20単位以上修得のこと。)を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物・学力ともに優秀な者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）									
時 間	9：00～13：00（予定）									
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 各学科の口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。 ただし、各学科の出題範囲について、平成21年告示高等学校学習指導要領以前の教育課程履修者に対する特別な措置はとりません。									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科名</th> <th>出題範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高分子・有機材料工学科</td> <td>○ 物理，化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域，物理の全領域 化学：化学基礎の全領域，化学の全領域</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化 学 ・ バ イ オ 工 学 科</td> <td> 【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ） </td> </tr> <tr> <td> 【バイオ化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学，生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域，生物のうち「生命現象と物質」，「遺伝情報の発現と発生」，「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ） </td> </tr> <tr> <td>情報・エレクトロニクス学科</td> <td> 【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「図形と方程式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」 数学Cのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ） </td> </tr> </tbody> </table>	学科名	出題範囲	高分子・有機材料工学科	○ 物理，化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域，物理の全領域 化学：化学基礎の全領域，化学の全領域	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）	【バイオ化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学，生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域，生物のうち「生命現象と物質」，「遺伝情報の発現と発生」，「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）	情報・エレクトロニクス学科	【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「図形と方程式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」 数学Cのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）
	学科名	出題範囲								
	高分子・有機材料工学科	○ 物理，化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域，物理の全領域 化学：化学基礎の全領域，化学の全領域								
化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）									
	【バイオ化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学，生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域，生物のうち「生命現象と物質」，「遺伝情報の発現と発生」，「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）									
情報・エレクトロニクス学科	【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「図形と方程式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」 数学Cのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）									

科目等	<table border="1"> <tr> <th>学科名</th> <th>出題範囲</th> </tr> <tr> <td>情報・エレクトロニクス学科</td> <td> 【電気・電子通信コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、「二次関数」 数学Ⅱのうち「図形の性質」 数学Ⅲのうち「いろいろな式」、「図形と方程式」、 「指数関数・対数関数」、「三角関数」、「微分・積分の考え」 数学Ⅳのうち「数列」 数学Ⅴのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ） </td> </tr> <tr> <td>機械システム工学科</td> <td> ○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ） </td> </tr> <tr> <td>建築・デザイン学科</td> <td> 建築，都市，デザインを題材とした集団面接における試問を通して，以下の観点から評価します。 ○ 社会に対する幅広い興味・関心 ○ 科学的思考力と論理的表現力 ○ 発想の豊かさと思考の柔軟性 </td> </tr> </table>	学科名	出題範囲	情報・エレクトロニクス学科	【電気・電子通信コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、「二次関数」 数学Ⅱのうち「図形の性質」 数学Ⅲのうち「いろいろな式」、「図形と方程式」、 「指数関数・対数関数」、「三角関数」、「微分・積分の考え」 数学Ⅳのうち「数列」 数学Ⅴのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）	機械システム工学科	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）	建築・デザイン学科	建築，都市，デザインを題材とした集団面接における試問を通して，以下の観点から評価します。 ○ 社会に対する幅広い興味・関心 ○ 科学的思考力と論理的表現力 ○ 発想の豊かさと思考の柔軟性
	学科名	出題範囲							
	情報・エレクトロニクス学科	【電気・電子通信コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、「二次関数」 数学Ⅱのうち「図形の性質」 数学Ⅲのうち「いろいろな式」、「図形と方程式」、 「指数関数・対数関数」、「三角関数」、「微分・積分の考え」 数学Ⅳのうち「数列」 数学Ⅴのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）							
機械システム工学科	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）								
建築・デザイン学科	建築，都市，デザインを題材とした集団面接における試問を通して，以下の観点から評価します。 ○ 社会に対する幅広い興味・関心 ○ 科学的思考力と論理的表現力 ○ 発想の豊かさと思考の柔軟性								
選抜方法	調査書，推薦書，志望理由書及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。 なお，面接（口頭試問を含みます。）では調査書，推薦書及び志望理由書を参考にします。 配点は，次のとおりとします。 <table border="1"> <tr> <td>調査書評価点</td> <td>面接（口頭試問を含みます。）</td> <td>合計点</td> </tr> <tr> <td>30点</td> <td>70点</td> <td>100点</td> </tr> </table>	調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合計点	30点	70点	100点		
調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合計点							
30点	70点	100点							
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は，次の項目を基準に評価します。 ○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力								
合否判定基準	(1) 調査書に基づく調査書評価点と面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により，合否を判定します（総合点方式）。 (2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。								

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

面接（口頭試問を含みます。）時間は，1人20分程度とします。

ただし，建築・デザイン学科については，1グループ25分程度の集団面接（口頭試問を含みます。）とします。

試験当日の注意事項等詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

4 入学前教育について

本学部では，学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）合格者に対し，入学後の学習が順調に進むように，学習教材を指定したeラーニング等による入学前教育を実施しています。

特に，数学，理科及び英語については，工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり，ここでのつまずきは，入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので，合格者全員が受講するようにしてください。

なお，入学前教育の詳細及び費用については，合格通知の際にお知らせします。

工 学 部 フ レ ッ ク ス コ ー ス

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
シ ス テ ム 創 成 工 学 科	5人

2 出願資格・出願要件

<p>高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者（(注)の1及び2を含みます。）で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.3以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 1 高等専門学校第3学年を修了した者又は修了見込みの者 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者</p>
--

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。 ただし、出題範囲について、平成21年告示高等学校学習指導要領以前の教育課程履修者に対する特別な措置はとりません。		
	出題範囲		
選 抜 方 法	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱの全領域 ○ 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の基礎力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）		
	調査書，推薦書，志望理由書及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。 なお，面接（口頭試問を含みます。）では調査書，推薦書及び志望理由書を参考にします。 配点は，次のとおりとします。		
	調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合 計 点
	30点	70点	100点
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は，次の項目を基準に評価します。 ○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力		
合 否 判 定 基 準	(1) 調査書に基づく調査書評価点と面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により，合否を判定します（総合点方式）。 (2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。		

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

面接（口頭試問を含みます。）時間は，1人25分程度とします。

試験当日の注意事項等詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

4 入学前教育について

本学部では，学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）合格者に対し，入学後の学習が順調に進むように，学習教材を指定したeラーニング等によ

る入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、入学前教育の詳細及び費用については、合格通知の際にお知らせします。

農 学 部

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
食 料 生 命 環 境 学 科	40人

2 出願資格・出願要件

高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者（注）並びに高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に食料生命環境学科での勉学を強く希望する者
- (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者

（注）次のいずれかに該当するものを含みます。

- 1 我が国において、当該外国の学校教育制度において12年の課程と同等の課程を有するものとして、文部科学大臣が位置付けた教育施設を修了した者又は修了見込みの者
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和7年度中に修了した者又は修了見込みの者
- 3 国際評価団体の認定を受けた教育施設であって文部科学大臣が指定した教育施設を修了した者又は修了見込みの者

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）		
時 間	9：00～10：30	12：00～17：00（予定）	
科 目 等	小 論 文	面 接（口頭試問を含みます。）	
選 抜 方 法	推薦書、調査書、志望理由書、小論文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。		
	配点は次のとおりとします。		
	小 論 文	面 接（口頭試問を含みます。）	合 計 点
	100点	50点	150点
採 点 ・ 評 価 基 準	小論文では、「考察力、論理的思考力、理解力、記述力等」を基準に、面接（口頭試問を含みます。）では、「理解力、表現力、意欲、志望理由、修学状況、社会的活動等」を基準に評価します。なお、小論文では英語を含む基礎学力を問う問題を課すことがあります。		
合 否 判 定 基 準	推薦書、調査書及び志望理由書を参考にしながら行った面接（口頭試問を含みます。）と小論文の成績との総合成績により判定します。		

◎ 農学部試験場（鶴岡市若葉町1-23）において実施します。

詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

4 入学前教育について

本学部では、入学後、大学での勉学にスムーズに移ることができるよう、合格者に対して課題を課します。

なお、課題の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

社会共創デジタル学環

1 募集人員

学部等連係課程名	募集人員
社会共創デジタル学環	15人

2 出願資格・出願要件

<p>高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 山形県内またはそれぞれの生まれ育った地域や地方において、地域課題の解決に貢献しようとする強い意志をもち、本学環で学ぶための基礎学力を備えた者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和7年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。</p>
--

3 選抜方法等

選抜期日	令和7年11月21日（金）			
時 間	9：00～17：00（予定）			
科 目 等	面接及び集団討論			
選 抜 方 法	<p>(1) 書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）に加え、面接及び集団討論を実施します。</p> <p>(2) 面接及び集団討論の概要は以下のとおりです。</p>			
	科目等	概 要	試験時間	
	面 接	本学環を志望した理由、これまでに力を入れて取り組んだこと、大学入学後に学びたいことなどについて質問します。	1人10分程度 （予定）	
	集団討論	4～6人程度を1グループとし、各自が地域における課題を出し、その中からテーマを絞って討論します。	20分程度 （予定）	
	(3) 配点は次のとおりとします。			
	面接	集団討論	書類審査 （調査書、推薦書、志望理由書）	合計点
	120点	120点	60点	300点
採点・評価基準	面接、集団討論、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）では、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に掲げる「求める学生像」の能力・資質を総合的に評価します。			
合 否 判 定 基 準	面接、集団討論、書類審査（調査書、推薦書志望理由書）の得点の合計により、合否を判定します。			

- ◎ 社会共創デジタル学環試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。
 詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛に通知します。

4 入学前教育について

本学環では，入学後，大学での勉学にスムーズに移れるよう，合格者に対して課題を課すことがあります。

なお，詳細については，合格者に対して後日通知します。

4 受験者心得

- 1 「山形大学入学試験受験票」について
 - (1) 試験当日は、「山形大学入学試験受験票」を必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。
 - (2) 試験場では、常に「山形大学入学試験受験票」を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
 - (3) 試験当日、「山形大学入学試験受験票」を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きを取ってください。
 - (4) 「山形大学入学試験受験票」を紛失した場合は、速やかに志願学部等の担当部署（21ページ参照）に申し出てください。
 - (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着する等、各自の責任において必要な対応を取ってください。

(過去の事例)

平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。また、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により、新幹線等が運休になりました。前期日程試験までに完全復旧にはならず、試験当日に他県から移動した受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。

- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
 - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
 - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
 - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
 - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
 - (5) 解答用紙の所定の位置に大学受験番号が正しく記入されていない場合は、当該科目は採点されず当該科目を受験していないとみなすことがあります。
 - (6) 解答用紙に記入した文字や図が乱雑である、文字が薄い等により、採点時に判読できない場合、正確に採点されないことがあります。
- 9 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。アラーム機能をもつ電子機器類はアラームの設定を解除した上で電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為になります。
- 10 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 11 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。

- 12 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 13 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 14 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 15 受験のための宿泊施設については、本学ではあっせんしていません。
- 16 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。
- また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

5 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
令和7年12月1日(月)11時	本学ホームページの「入試案内」に全学部等の合格者の大学受験番号を掲載します。

- (注) 1 合否のお問合せには、一切応じません。
 2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。

合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

なお、出身学校長には、選抜結果通知書を送付します。

6 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続書類提出期間

令和7年12月10日(水)から12月15日(月)まで(必着)(土・日曜日を除きます。)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

学部等	入学料
人文社会科学部, 教育学部, 理学部, 工学部昼間コース, 農学部, 社会共創デジタル学環	282,000円
工学部フレックスコース	141,000円

(注) 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(3) 提出書類

詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

7 授業料

授業料については、入学後に納付していただきます。

学部等	授業料	納付方法
人文社会科学部, 教育学部, 理学部, 工学部昼間コース, 農学部, 社会共創デジタル学環	年額 535,800円 (予定額)	「年1回払い」, 「年2回払い」, 「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。
工学部フレックスコース	年額 267,900円 (予定額)	

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。
- 2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- 3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。